

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合演習 I		
担当者(Instructors)	上田 裕司	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)

前期は、学校体育に関連する基礎的事項を学ぶ。具体的には保健体育科教員に必要な体育分野の基礎学力の構築、また、学校現場における体育授業の進め方等について演習活動（実技）を通じて学ぶ。同時に、これらの活動は、その先にある教員採用試験対策（専門科目）に向けた事前の取組として位置付けている。

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習及び実技（球技）

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	・オリエンテーション	前期の活動内容の確認	<input type="checkbox"/>
第2回	・学校体育に関連する主要事項の確認 ・ネット型スポーツについて	学校体育の役割について理解する。 運動領域の確認と特性	<input type="checkbox"/>
第3回	・ソフトバレーボール（知識・技能）	ソフトバレーボールの基本技能の習得（オーバーハンドパス・アンダーハンドパス）とゲーム	<input type="checkbox"/>
第4回	・バレーボール（知識・技能①）	バレーボールの歴史と特性 バレーボールの基本技能の確認（各種パス・サービス等の技能取得と技能指導について）	<input type="checkbox"/>
第5回	・バレーボール（知識・技能②）	ゲーム場面での攻撃に関わる技能の習得と練習方法 習得した技能を生かしてゲームを行う	<input type="checkbox"/>
第6回	・バレーボールの（知識・技能）	サーブカットとゲーム 正規ルールに基づきゲームを行う。 審判法を身に付ける。	<input type="checkbox"/>
第7回	・バドミントン（知識・技能①）	バドミンントンの歴史と特性 バドミンントンの各種ストロークとフライトに関する知識と技能を習得する。	<input type="checkbox"/>
第8回	・バドミントン（知識・技能②）	ゲーム場面での攻撃（スマッシュ）技能の習得と練習方法 習得した技能を生かしてゲーム（シングルス）を行う。	<input type="checkbox"/>
第9回	・バドミントン（知識・技能③）	ダブルスゲーム 正規ルールに基づきゲームを行う。 審判法を身に付ける。	<input type="checkbox"/>
第10回	・卓球（知識・技能①）	卓球の歴史と特性 卓球の打法の習得と球種の特徴について理解する。	<input type="checkbox"/>
第11回	・卓球（知識・技能②）	ゲーム場面での攻撃的技能の習得と練習方法 習得した技能を生かしてゲーム（シングルス）を行う。	<input type="checkbox"/>
第12回	・卓球（知識・技能③）	ダブルスゲーム 正規ルールに基づきゲームを行う。 審判法を身に付ける。	<input type="checkbox"/>
第13回	・球技に関する指導案作成（略案）☒	体験したスポーツの中から1種目選び指導案の作成を行う。	<input type="checkbox"/>
第14回	・球技に関する指導案作成（略案）②	体験したスポーツの中から1種目選び指導案の作成を行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	・前期まとめ	前期の振りかえり自己課題を発見する。 後期の内容を理解する。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習：示された課題に関連する事項を資料を基に予習する。（2時間程度） 事後学習：各回の授業を振り返り，課題を整理する（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の演習で課題となった事項をゼミ生全体で共有し，随時課題の解決を図る。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	学びの基礎となる社会，文化，自然等に関連する幅広い知識を習得しながら専門知識を育み，それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	基礎学力を踏まえた専門知識と自らの経験を基に，創造的に考えたうえで，課題についての的確に判断し，自在に表現，発信することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	多様な人々の中で自己を理解し，主体的に他者と協働して問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	0%

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜配布	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		